

コロナ禍を経た これからの都市交通を考える

人口増加が続いていた横浜市も昨年度にピークを迎え、既に減少期に入ったと言われています。ただし地域差が大きく、東京に近い港北、都筑、鶴見区等はまだ増加傾向ですが、比較的遠い瀬谷、旭、栄、金沢区等は数年前から減少期に入っています。横浜の地形は高低差が大きく、高齢化が進む中、移動の足の確保がこれからの大きな課題であり、行政もその点を認識し対応に取り組んでいるところです。

一方、コロナの影響を受けて従来の就労環境や行動パターンも大きく変化し、完全に終息しても以前と同様の輸送需要は見込めないとされています。このような中でこれからの都市交通の姿はどうあるべきか、今回はLRT導入以前の構造的な問題として話題を提供し、皆で考えていく機会といたします。

基調講演「コロナ後における都市・人に資する鉄道のあり方」

金山洋一 氏 (富山大学都市デザイン学系特別研究教授、
運輸総合研究所主席研究員、日本大学客員研究員)

報告① 「自律型スマート停留所システムについて」

井上晃良 氏 (inoue design代表 工業デザイナー)

報告② 「交通局による利用促進策について(仮)」

湯川信也 氏 (横浜市交通局 自動車本部営業課 観光担当係長)

報告③ 「来週末、遂に開業！ 宇都宮ライトレールのこれまで」

西田 敬 氏 (雷都レールとちぎ会員、横浜にLRTを走らせる会会員)

日時：2023年 8月19日 (土) 14:00～16:30 (開場13:45)

会場：波止場会館4階大会議場

(みなとみらい線 日本大通り駅徒歩5分 / JR根岸線・地下鉄ブルーライン 関内駅徒歩15分)

参加費：資料代1,000円 (学生500円) 定員60名

申込先URL：<https://eventregist.com/e/mu6YEa7Mb3SS>

申込先QRコード：



この模様はZoomでの配信も行います(無料)。お申込み頂いた方には後日視聴用アドレスをお送りします。
※現地の通信環境その他の状況により、予告なく中継画像が乱れる場合があります。

問合せ先：NPO法人横浜にLRTを走らせる会 yokohama-lrt@nifty.com 090-3801-6142

主催：NPO法人 横浜にLRTを走らせる会 共催：横浜の公共交通活性化をめざす会
後援：国土交通省関東運輸局(予定) 横浜市都市整備局(予定)